

この使用説明書をよく読んでから使用してください

ケトン体コントロール I

ケトン体コントロール II

ケトン体コントロール III

【使用目的】

総ケトン体及び3-ヒドロキシ酪酸 (3-HB) の精度管理用血清

【特徴】

- 1) 本製品は、ヒト血清に3-HBを添加した凍結乾燥品です。
- 2) 本製品の表示値は、容器ラベルに記載してあります。
- 3) 各製品は、下記の濃度を目安に調製されています。表示値はロット毎に異なりますので、ご注意ください。
ケトン体コントロール I：約 10 $\mu\text{mol/L}$
ケトン体コントロール II：約100 $\mu\text{mol/L}$
ケトン体コントロール III：約300 $\mu\text{mol/L}$

** 【試薬の調製方法】

- 1) 本品1バイアルに精製水 3 mLを加え、緩やかに転倒混和して完全に溶解してください。
- 2) 溶解後は2～10°C遮光保存で2週間使用できます。-20°C以下の冷凍保存も可能です。凍結融解を繰り返さないために、小分けして保管してください。

** 【操作上の注意】

- 1) サンプルカップ等に小分けしてご使用ください。

** 【使用上又は取扱い上の注意】

- 1) 本製品は原料としてヒト血清が含まれています。HBs抗原、HIV抗体 (HIV-1、HIV-2)、及びHCV抗体が陰性であることを確認しております。しかし、現時点ではどのような試験法を用いてもヒト感染ウイルスの存在を否定することは不可能です。従って、検体と同様、感染の危険性があるものとして取扱いには十分注意してください。
- 2) 使用にあたっては、感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用してください。
- 3) 感染を避けるため、口によるピペッティングを行わないでください。
- 4) 誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当等を受けてください。
- 5) 本製品を廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。
- 6) 検査に使用した器具や試薬等は感染の危険があるものとして適切に処理してください。次亜塩素酸ナトリウム (0.1%以上、1時間以上浸漬)、グルタルアルデヒド溶液 (2%、1時間以上浸漬) による消毒処理又はオートクレーブ (121°C、20分以上) による滅菌処理を行ってください。
- 7) 本製品が漏出又は飛散した場合、感染の危険があるものとして消毒処理又は滅菌処理を行ってください。
- 8) 本製品の容器等は他の目的に転用しないでください。

【保管方法・有効期間】

保管方法：2～10°C 遮光

有効期間：12ヵ月 (使用期限は容器ラベル及び外箱に表示)

【包装単位】

製品名	管理コード	包装
ケトン体コントロール I	CR-5501	3 mL× 6
ケトン体コントロール II	CR-5502	3 mL× 6
ケトン体コントロール III	CR-5503	3 mL× 6

【問い合わせ先】

株式会社カインス 学術部

〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-18

☎ 03 (3816) 4480 FAX 03 (3816) 6544

製造販売元

K 株式会社カインス

〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-18 ☎ 03 (3816) 4485